

豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略策定に向けた提言

私たち豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略会議委員は、2020年9月から3回の戦略会議を開催し、先に行われた高校生・20代のワークショップや、経営者ヒアリング等の意見を参考にしながら、未来志向で地域に根差した戦略案の検討を行ってきました。

検討過程において、ジェンダーギャップの背景には、固定的な性別役割分担意識の存在とそれに基づいた慣行があり、無意識の偏見や思い込みがとりわけ女性に不利に働くなど社会的・文化的な男女格差は、公正性の問題であると強く気づかされました。

次世代に、より良い未来を引き継ぐためには、男性中心の社会を見直し、ジェンダーギャップを解消していくことが不可欠であると痛感しています。

私たち委員は、このまちのジェンダーギャップ解消に向け、戦略の目指す姿を「固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が見直され、お互いを尊重し支え合いながら、いきいきと暮らしている」、戦略目的を「ジェンダーギャップ解消の必要性を自分ごととして捉え、行動する人が増えている」として、実現するための主要手段などを別添のとおりとりまとめました。

私たち委員も、戦略策定に関わった一人として、それぞれの立場でジェンダーギャップの解消に引き続き取り組んでいきたいと考えています。

ついては、市におかれては、戦略会議でとりまとめた意見をもとに、目指す姿の実現に向けた戦略を速やかに策定されるとともに、市の政策にジェンダー視点を主流化され、実効性のある取り組みを着実に推進されるよう提言します。

あわせて、市民一人ひとりが「自分ごと」として捉え、ジェンダーギャップ解消が持続可能な取り組みとなるよう「条例化」の検討についても切望します。

2021年1月12日

豊岡市長 中 貝 宗 治 様

豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略会議

岡 本 慎 二

大 槻 恭 子

1 戦略体系図（案）

【上位目的】

固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が見直され、お互いを尊重し支え合いながら、いきいきと暮らしている

【戦略目的】

ジェンダーギャップ解消の必要性を自分ごととして捉え、行動する人が増えている

手段 01 市民にジェンダーギャップ解消の必要性が知られている

- 0101 ジェンダーギャップ解消の必要性を学び、特に子どもたちの未来に関わることだと理解している市民が増えている
- 0102 多世代・多様な市民が、ジェンダーギャップ解消の意義やメリットを語っている
- 0103 市民の暮らしの中にジェンダー視点（注1）が浸透している

注1 ジェンダー視点：「社会的・文化的につくられる性別（ジェンダー）」が性差別、性別による固定的な役割分担、偏見等につながっていることを理解すること。

手段 02 地域において男女が共に意思決定・方針決定に参画している

- 0201 多世代・多様な市民によるコミュニケーションが活発に行われている
- 0202 地域活動に参画しリーダーシップを発揮する女性や若者が増えている
- 0203 女性や若者の声やニーズが政策に反映されている

手段 03 女性も男性も働きやすく働きがいのある事業所が増えている

- 0301 経営者がジェンダーギャップ解消に向けてリーダーシップを発揮している
- 0302 好事例やノウハウを手本にして変革に取り組む事業所が増えている
- 0303 性別に関わらずフェアな評価により活躍の場が広がっている
- 0304 性別に関わらず家事、育児、介護のための休暇等の取得が進んでいる

手段 04 家庭において男女が家計責任（世帯収入）とケア責任（家事・育児・介護等）を分かち合っている

- 0401 家事・育児・介護等の価値や意義が知られている
- 0402 スキルを磨いて家事・育児・介護等に主体的に関わる男性が増えている
- 0403 家事・育児・介護等に関する支援の仕組みが構築されている

手段 05 自分のありたい姿に向かって、経済的に自立し、いきいきと暮らす女性が増えている

- 0501 自己実現に向けてチャレンジする女性が増えている
- 0502 まちのあちこちで女性同士のつながりが生まれている
- 0503 経済的に自立するための相談支援体制が構築され、活用する女性が増えている

手段 06 子どもたちがジェンダーギャップ解消の必要性を自分のことばで語っている

- 0601 保育園・こども園・幼稚園・学校等でジェンダー視点を取り入れた保育・教育が行われている
- 0602 子どもたちが性別にとらわれず自分のありたい姿を描き、実現に向けて行動している

上位目的：この戦略において5～10年程度で実現したい姿

戦略目的：この戦略において3年程度で達成したい姿

戦略の期間：2021年度から2030年度までの10年間（前期5年、後期5年）

2 委員の行動宣言

- ・「とよおかフェアネス！！」
ジェンダーギャップを解消し公平で多様性を重視する企業の仲間を増やす。
- ・地域ビジョン計画にジェンダーギャップ解消を盛り込む。
- ・女性目線での改善活動。
- ・婿入り修行と情報発信。
- ・「あの人は」「あの子は」と見た目で判断しない。
- ・女性として“豊岡市だから”活躍できる姿を発信していく。そしてまきこむ。
- ・皆が新しい意識を開けるようにソーシャルアントレプレナーとして仕掛けづくりを諦めない！
- ・I P P O TOYOOKAでの女性起業相談件数を増加させていく。
- ・明日のためにできることから始めます！！ジェンダーも年齢も関係なく「一人一人の尊重から」

